

令和8年度調布市立調布中学校技術・家庭科（技術分野）第1学年評価計画（1／1）

1. 教科の目標

	(1)	(2)	(3)
目標	生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 評価の観点及び趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

A 材料と加工の技術

学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身の回りの材料と加工の技術 木材、金属、プラスチックの特性・加工法 材料と加工の技術の工夫を読み取ろう	材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。	材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。
木製の棚の制作	製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。	材料と加工の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
材料と加工の技術の最適化 これからの材料と加工の技術	生活や社会、環境との関わりを踏まえて、材料と加工の技術の概念を理解している。	生物育成の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。
主な評価方法	定期考査、製作物・製作記録、実技テストなど	定期考査、ワークシート等の記述など	授業への取り組み、ワークシート等の記述など